

第 2 回インフラメンテナンス大賞 第 1 回からの主な改正内容

(1) 応募分野の拡大

複数分野にまたがる取組や技術開発については、1 分野だけでなく複数分野への応募を可能としました。

(2) 審査における評価の視点の明確化

インフラメンテナンスの取組の特性を踏まえ、評価の視点を再整理し、明確にしました。

評価項目	評価の視点
① 着眼点	革新性・独創性
② 取組姿勢	積極性・継続性
③ 効果	生産性・効率性、地域貢献度 ※応募内容に応じて、いずれかを応募者が選択することができます。
④ 外部効果	メンテナンス分野への波及効果、影響

(3) 応募期間の拡大

応募期間を 1 ヶ月半としていましたが、応募者の準備期間に配慮し、2 ヶ月に延ばし、昨年より前倒しで応募を開始しました。